

資料 6

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 事業効果検証シート
(R5年度事業分)

		担当課	観光課				
交付対象事業名	赤城山広域連携サイクルツーリズム	R5 事業費 (円)	計画額	1,022,000			
総合戦略の位置付け	基本目標 5 地域特性に応じた魅力発信と定住促進		実績額	1,022,000			
事業実施期間	令和3年度～令和5年度		交付額	511,000			
事業概要	地域での観光消費を高め、新型コロナウイルスの影響により冷え込んだ地域経済の活性化を図るため、ウィズ・ポストコロナ時代に適合したコンテンツ重視の観光施策として自転車振興を推し進め、サイクルツーリズムの対象区域を拡大し、赤城周辺自治体や民間事業者など地域の関係者が連携してナショナルサイクルルートの指定を目指したサイクルツーリズムに取り組む。						
活動内容	・「AKAGI サイクルオアシス」の整備 ・サイクリングガイド（サイクルナビゲーター）の育成 ・e - B i k e を利用したサイクリングツアーやレンタサイクルを実施 ・デジタルスタンプラリーやe-Bikeを活用したサイクルツーリズム等のノウハウを拡大 ・サイクリングイベントを開催してサイクリストの誘客を図る。 ・「赤城山広域サイクルツーリズム」のブランド化を目指す ・データマーケティングに関するノウハウを他自治体にも広げ、新たなツアー開発に取り組む						
主な成果	・サイクルオアシスを10箇所設置(みどり市内) ※うち令和5年度新規:2箇所 ・スタンプラリーの総アプリダウンロード数：376件 ・赤城山一周ライド参加総数111名 ※1周コース：101名、ハーフコース：10名						
重要業績評価指標 (KPI)	指標(単位)		開始前 (R2)	R3	R4	R5	
	観光入込客数(千人)	目標値	679.0	699.0	707.2	715.4	
		実績値		1,186	1,347	1,345	
	サイクリングガイドの 養成人数(人)	目標値	0	6	12	18	
		実績値		6	3	4	
	多機能ポータルサイト アクセス数(回)	目標値	300,000	337,500	387,500	437,500	
		実績値		559,804	588,044	725,237	
	e-Bikeのレンタル台数(台)	目標値	92	112	134	156	
実績値			132	401	478		
取組の検証	事業効果	③地方創生に効果があった					
	課題・改善点	赤城山一周ライドについては、ハーフコースの距離を令和4年度よりもさらに短くし参加者増に向け工夫を行ったが、参加人数が伸びなかった。					

<事業効果>

①地方創生に非常に効果的であった

②地方創生に相当程度効果があった

③地方創生に効果があった

④地方創生に対して効果がなかった

例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合

例:一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合

例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合

例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えないような場

今後の 事業展開の方針	⑥事業の終了(当初予定通り事業を終了する(または、した)) 赤城山1周ライド及びスタンプラリー事業については終了するが、サイクルオアシスについては引き続き設置し、赤城山広域の自治体間の連携も図っていく。
----------------	--

<今後の方針>

①事業の継続(計画通りに事業を継続する(または、概ね同内容で継続する))

②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等さらに発展させる)

③事業の改善(事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った))

④事業の縮小

⑤事業の中止(継続的な事業実施を予定したが中止する(または、した))

⑥事業の終了(当初予定通り事業を終了する(または、した))

外部有識者会議による評価	
意見	

①KPI達成に有効であった

②KPI達成に有効とは言えない